

おち町

議会だより OCHI TOWN

No.96

2011年5月1日発行
高知県越知町議会

越知ヘリポートとドクターヘリで救急機能が充実

3月定例会

2P **23年度一般会計予算40億2213万円**
防災行政無線放送のデジタル化

5P **緑のふるさと協力隊が着任(予算案質疑)**

10P **カヌー体験や黒瀬ログハウス(条例制定・改正)**

13P **区長さんに議会報告会 5/27実施(委員会報告)**

14P **福祉問題や防災対策を6人が問う(一般質問)**

生かす！

平成23年3月定例会

23年度一般会計40億2213万円

防災行政無線をデジタル化

7ページに関連記事

3月定例会は、11日から15日までの会期で開き、平成23年度当初予算をはじめ平成22年度補正予算、中学校卒業まで医療費無料や観光物産館「おち駅」に力又ー・ゴムボートの利用規定を設けるなどの条例の一部改正、黒瀬ログハウス条例や暴力団排除条例の制定など30件と教育委員の選任などの人事案件3件を全会一致で可決・同意しました。

一般質問（14ページから）は6人が登壇し、当面する町政課題について執行部の考えをいただきました。また、議会広報調査特別委員会を常任委員会とする条例改正と一般質問を一問一答とするなどの会議規則の改正を全会一致で可決しました。

仁淀川を

カヌー・ゴムボートで遊ぶ (10ページに関連記事)

黒瀬公園にログハウス (11ページに関連記事)

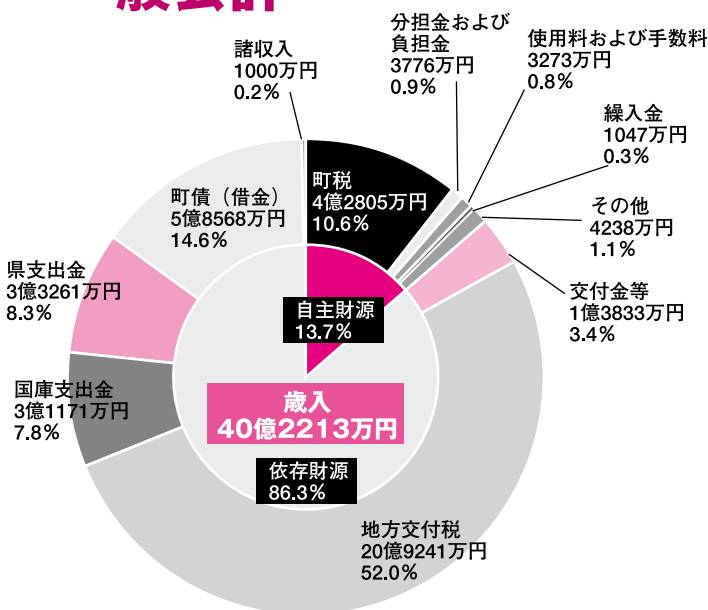
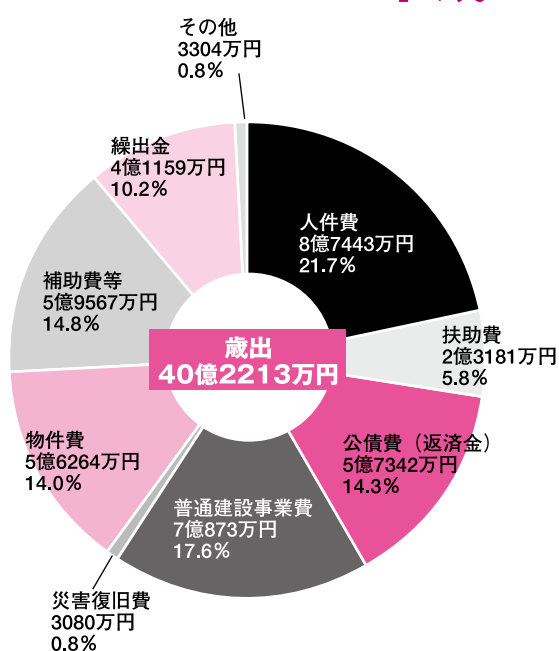
平成23年度予算

会計名		予算額	前年度予算額	比較
一般会計		40億2213万円	36億3829万円	3億8384万円
特別会計	簡易水道	1592万円	7899万円	△6307万円
	下水道	1億5175万円	1億5573万円	△398万円
	国民健康保険	8億4857万円	8億4047万円	810万円
	老人保健	—	132万円	△132万円
	介護保険	10億1393万円	9億6887万円	4506万円
	後期高齢者医療	1億218万円	9959万円	259万円
	土地取得	17万円	21万円	△4万円
	蚕糸資料館	21万円	16万円	5万円
	自然の森博物館	2627万円	2490万円	137万円
企業会計（水道）		5194万円	1億393万円	△5199万円
合 計		62億3307万円	59億1246万円	3億2061万円

毎年行われている関西学院大学の小西砂千夫教授（後列左端）と社会福祉学科の学生を招いた横畠地域との交流会（3月31日・横畠清水集会所）



平成23年度 一般会計



人 件 費	職員や町長、議員への給料や報酬、期末手当など
扶 助 費	生活に困っている人を支援する費用
公 債 費	事業を進めるために行った借金の返済金
物 件 費	自治体が使う消耗品や備品代、委託料などの費用
補 助 費 等	広域事務組合や各種団体などへの負担金や補助金
繰 出 金	下水道事業や介護保険事業などの特別会計に充てる費用

町 税	住民が納める税金
繰 入 金	町の貯金を下ろして使う金額
交 付 金 等	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
地 方 交 付 税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町 債	自治体の財源不足を補うための借金
自 主 財 源	自前で賄うことができる財源
依 存 財 源	国や県の補助金や借金に頼る財源

地域おこし

若者の力を生かす

緑のふるさと協力隊



着任された川合里奈さん
北海道函館市出身

岡林学議員

隊員の年齢層は。

小田企画課長

決まってい
ないが、20—30歳代が多い。

都市部の若者を、NPO法人地球緑化センターが募集して、『緑のふるさと協力隊』として農山漁村などに派遣する事業。
期間が1年間で、協力隊員は農林業などを通じて地域おこしを手伝う。
活動後には、42%の若者が定住を実現している。
横畠地区の民家を町が借りて住んでもらう予定。
NPO法人への負担金や住居改修補助金などに249万円。



おいしいおまんじゅうの作り方を習う「緑のふるさと協力隊」の川合さん（左から2人目・横畠清水集会所）

しばらく職員が同行

斎藤政広議員

隊員への

対応やスケジュールは。

小田企画課長

しばらく

職員が同行して、地域に溶け込んでもらうようにする。

少なくとも週に1回は企画課に来てもらって、活動状況などをインターネットで発信してもらう。
毎月25日に翌月のスケジュールを隊員に示す。

NPO法人から生活費

片岡清則議員

賃金はど

うなる。

小田企画課長

金銭の支

払いは必要ない。

NPO法人に町が負担金を支払う、それから生活費が支払われる。ただし、住居や車などは受け入れ側が用意する。

横畠小学校の改修基本設計168万円

横畠地区において、横畠小学校に宿泊施設や食品加工場、農家レストラン、公民館などの機能を取り入れた校舎の活用を検討しており、そのための改修に必要な基本設計を委託する。

地区民の本音を聞け

西川晃議員

地元から「地

域全体の同意が得られていない。慎重に考えてほしい」といった声があるが。

市原静子議員

地域の女

性から「小学校の活用は賛成だが、自分たちの考えとは違って、大きな内容でつ



地域の交流拠点として計画されている横畠小学校

福祉

地域福祉の
担い手育成に204万円

藤原俊夫議員

地域福祉

担い手育成事業の内容は。

岡林住民課長

ボランティア

活動などで住民の福祉への理解を深めるため、地域福祉活動計画を作る。

財産管理

県の職員住宅（文殊様前）を740万円で購入

壁や浴槽、台所などを約218万円で修繕し、外国語指導助手（ALT）や国際交流員、高知FDのコーチや練習生などの宿舎にする予定。



購入が決まった県の職員住宅
土地面積539.27㎡（約163坪）
延べ床面積131.37㎡
鉄筋コンクリート2階建て、2世帯分

高知FDの宿舎に

岡林学議員

高知FDの宿舎は佐川町だが、練習生には部屋がないのか。また、入居できる人数は。

小田企画課長

佐川町は手狭になっており、越知でも住んでもらうようにする。

大原総務課長

高知FDの場合はコーチの家族と練習生4人が可能。

山橋正男議員

外国語指導助手（ALT）や国際交流員が住む場合はどうなる。
山中教育長 今は民間アパートで、2分の1の家賃補助をしているが、ここに住めば不要になる。

家賃は無料

片岡清則議員

家賃は。

大原総務課長

佐川町と同じで無料。ただし、月3000円の共益費と光熱費は負担になる。

町ホームページを改善

斎藤政広議員

ホームページのリニューアルの内容と活用時期は。

大原総務課長

総務課が一括して内容を更新しているが、各課でできるようにする。

早い時期にやりたい。

町民会館の手すり

武智龍議員

町民会館周辺の手すり設置工事の内容は。

北添教育次長

草刈りなどをシルバー人材センターに委託しているが、山留めが高く、草刈り機を持って転倒すると大事故になる恐れがあり、高さ1層の手すりを385段設置する。

武智龍議員

地域農業振興事業業務はどういう業務を委託するのか。

小田産業建設課長

ヒューマンライフ土佐に委託している。新たに4人を雇用して耕作放棄地の防止を行っている。

農業

田畑を荒らさない

耕作放棄地対策に1140万円



ショウワの植え付けで耕作放棄地を防ぐ

有害鳥獣対策に146万円

片岡久一郎議員

有害鳥

獣対策の内容と鳥類（カワウやカラス）は対象ではないか。

小田産業建設課長

イノ

シシ40頭とサル10頭の捕獲と深瀬と清水地区への電気柵を見込んでいます。鳥類は補助していない。

清助と本村の農業支援

武智龍議員

中山間地域

集落営農等支援事業補助金の内容は。

小田産業建設課長

清助

地区の山椒畑のモノレールを延伸する。

また、本村地区に自走式ラジコン動噴機を導入する。

交流・観光

おち駅1周年イベント補助金110万円



順調な来客がある
「おち駅」

武智龍議員 観光費に町債(借金)の580万円を充てているが、対象事業は、
小田企画課長 「おち駅」1周年記念イベントに110万円、その他「によどかあにばる」「コスモスまつり」に充てている。

おち駅
業務委託費468万円

武智龍議員 おち駅活用事業委託料の内容と指定管理料の増額理由は、
小田企画課長 1人の人件費と観光イベントのリーフレット製作費など。
指定管理料は、電気料と有線放送の半額分を計上している。

若者の出会いに46万円

西川晃議員 若者の出会いの場を設ける「山あい川あい越知で愛ツアー」の効果は出ているか。
小田産業建設課長 商工会に補助しており、1組成立したという報告をもらっている。

防災行政無線放送のデジタル化3億8300万円

防災



役場1階に備えられたJ-ALERT(ジェイ・アラート)各地区へは防災行政無線放送で情報が伝えられる

今のアナログ方式は耐用年数を過ぎて老朽化による故障も起きている。
国の補助制度はデジタル化に限られており、将来、アナログ波の廃止も考えられるため、デジタル方式で整備する。
中継局や屋外子局を新・増設し、双方向通信設備(5局)やおち駅に文字表示板を設置する。
緊急地震速報や武力攻撃情報などを即座に放送できる全国瞬時警報システム「J・ALERT」(ジェイ・アラート)も備える。

岡林学議員 無線放送の感度の調査はやったか。

大原総務課長 設計段階で3回くらい調べている。

岡林学議員 桐見川小学校に付ける双方向通信設備は非常時に行けるのか。

大原総務課長 避難所である合同集会所が理想だが、電波が入らないため、致し方なかった。

斎藤政広議員 工期は、

大原総務課長 平成24年

3月末の予定だが繰り越しもあり得る。

早い時期にやりたい。

中大平に消火栓2基

片岡清則議員 中大平の

消火栓工事は地区の負担なしでやるのか。

大原総務課長 水道工事に合わせて2カ所予定している。補助は80%である。

教育

中学校の体育館と プールの改築計画

解体・改築設計監理委託費2100万円

体育館は耐力度調査で危険建物と確認した。
本年度に設計委託を行い、平成24年度に解体と建築を予定している。

今の体育館を解体して、1階がプール、2階が体育館、3階が倉庫を計画しており、太陽光発電や身体障害者用エレベーターなども考えている。



中学校入学式（4月7日・越知中体育館）

代わりは町民体育館

斎藤政広議員 工事中の
代わりの施設はどうする。

北添教育次長 町民総合
運動場の体育館とプールを
使う。

ネットワークシステム
405万円

岡林学議員 小・中学校
の教育用ネットワークシス
テムの内容は。

山中教育長 パソコン教
室に先生と生徒数のパソコ
ンが備えてあり、それぞれ
がネットワークでつながっ
て授業を行う。

明治中学校の手すり

片岡久一郎議員 明治中
学校の手すり設置工事の内
容は。

北添教育次長 地元が草
刈りをやるときにブロック
の天端から落ちる恐れがあ
り、鉄筋の手すりを226
メートル設置する。

林道

維持管理委託868万円

武智龍議員 林道の維持
管理業務と側溝清掃事業の
新設の理由は。

小田産業建設課長 林道
小日浦線と横倉長者線の維
持管理を建設業協会へ委託
する。

側溝の清掃は町道を主体
にやっていたが、町道がほ
ぼ終わったので林道を行う。



側溝清掃で快適な道に
（林道横倉長者線）



林道小日浦線が完成すれば津野
町の風力発電施設が近くなる

県営小日浦線が再開
町負担480万円

斎藤政広議員 県営林道
小日浦線は、ルートを変更
したとのことだが、完成は
いつか。

小田産業建設課長 問題
の場所から約150メートル後退
して付け替える。延長は約
1000メートルで、終点は変わ
らない。

平成22年度に約700メートル
施工して本年度300メートルで
完成する。

横倉山自然の森
博物館特別会計

特別展に163万円

岡林学議員 横倉山自然
の森博物館の特別展は、ど
んな内容を考えているか。

北添教育次長 路上詩人
の濱崎一途さんと切り絵の
松本卓弥さんの二人展を4
月9日から6月19日まで
開く。【10Pに関連記事】

また、夏にからくり展、
秋にフォトコンテストを計
画している。



子育て支援

こんなことが決まったぜよ



元気に育て！

**出産一時金39万円を
恒久的な制度に**

平成21年10月1日から平成22年度末まで、暫定措置として出産育児一時金を35万円から39万円に引き上げていたが、恒久的な制度にする。（4月1日施行）

（賛成・全員）

**仁淀川町児童を
本町保育園へ入所**

仁淀川町の児童を、平成23年4月1日から1年間、越知保育園に入所させるため、仁淀川町と協定を結ぶ。

（4月1日施行）

（賛成・全員）

医療費が無料に

中学校卒業まで

中学校卒業までの医療費を全額助成する。
通院・入院ともに無料となる。（4月1日施行）

（賛成・全員）

非常勤職員の育児休業

非常勤職員は、一定の条件を満たせば、育児休業は子どもが1歳到達までから最長1歳6カ月になるまで取得できる。

部分休業は小学校入学前まで、勤務時間の前後30分単位で、1日最長2時間まで取得できる。

休業期間は無給となる。

（4月1日施行）

（賛成・全員）

単独町営住宅

新たな同居は認めない

単独住宅の入居に関して、入居者以外の新たな同居は認めないものとする。

（3月17日施行）

（賛成・全員）



入居者への譲渡や空き住宅は解体している単独町営住宅（解体前の公園団地住宅）

人事

教育委員の任命

（同意・全員）

・森下 早苗 氏（黒瀬）
・酒井 清志 氏（小舟）

人権擁護委員の推薦

（同意・全員）

・片岡 重敦 氏（2区）

体験型観光

カヌー・ゴムボートで遊ぶ

観光協会が窓口

カヌーとゴムボートを備え、インストラクターによる体験やレンタルを行う。

利用時間は午前9時から午後5時まで。

利用の許可等は、指定管理者の観光協会が行う。

(4月1日施行) (賛成・全員)



山橋正男議員 カヌー等の指導員はいるのか。

小田企画課長 佐川町や高知市のインストラクターに協力いただき、地元でも養成したい。

高橋丈一議員 料金はどのように決めているか。

インストラクターがいないベテランの人が借りる時と同じ料金か。

小田企画課長 いの町や四万十川流域の金額を調べて決めた。

基本的にこの料金だが、これ以外のケースもあると思うので今後詰めていく。

1人当たりの体験料およびレンタル料		
カヌー	4時間以内	5000円
	4—8時間	9000円
ゴムボート	4時間以内	4500円
関連の備品等	8時間以内	1000円
越知町観光協会 / TEL : 0889-26-1004		

事業の財源に基金(貯金)の積み立て

過疎地域自立促進特別基金

平成22年度の過疎債(借金)の一部(3350万円)を基金として積み立てる。

平成23—27年度までの廃止路線代替バス運行補助金の財源に充てる。

(3月17日施行)

(賛成・全員)

住民生活に光をそぐ基金

国の交付金の一部(450万円)を基金として積み立てる。

平成23—24年度に横倉山自然の森博物館で開催する特別展の財源に充てる。

(3月17日施行)

(賛成・全員)



「濱崎一途・松本卓弥 二人展」
(4月9日～6月19日・横倉山自然の森博物館)

仁淀川を生かした

黒瀬公園に簡易宿泊施設

ログハウスを5棟備える



仁淀川を生かした体験型観光を目指し、カヌー体験ツアー参加者やキャンプ場利用者、釣り人などが気軽に宿泊できる施設として、黒瀬公園にログハウスを5棟備える。

午後1時から翌日の正午までの使用料が、3畳×3畳タイプ（1棟）で4500円。4畳×4畳タイプ（4棟）が5000円。

（4月1日施行）

（賛成・全員）

武智龍議員 指定管理料の予算を計上していないが、**小田企画課長** 施設の利用料収入を充てる。

ゆったりくつろげるログハウス

こんなことが決まったぜよ

町道の認定

5路線を認定（賛成・全員）

路線名	長さ(m)	道幅(m)	備考
市ケ谷屋敷線	130.0	3.2—4.0	野老山市ケ谷
野老山中村線	534.1	4.0	野老山中村
林屋敷1号線	40.0	4.0	3区下渡団地
大西屋敷線	62.6	4.0	女川団地
西ノ芝9号線	72.0	4.0	9区鍋ヶ淵団地



町道市ケ谷屋敷線

工事請負契約の変更

予定価格が5000万円以上の工事・製造の請負契約は議会の議決を得なければならない。その契約が500万円以上変わるときは再度議決が必要で、500万円以内のときは議決の必要はなく町長が専決処分できる。ただし、議会へ報告しなければならない。

情報通信基盤整備工事

（ブロードバンド事業）

2149万円を減額

平成21年度線越事業で、当初契約額を2149万5600円減額し、9505万4400円とする。

野老山、横島西部、明治方面のインターネット環境の整備を進めていたが、地域での聞き取り調査により、将来的にインターネットの利用が見込まれないと思われる地域の整備を取りやめたことによる減額。

（賛成・全員）

専決処分の報告

町民総合運動場

グラウンド施設整備工事

254万2050円増額し、9441万7050円とする。

グラウンド外周擁壁、ダッグアウト、バックネット、観客席の内壁面、既存ベンチなどの塗装工事、ブルペンの屋根設置、照明器具などの追加。

山橋正男議員

今後とも必要な整備を行うのか。

吉岡町長

断定はできない。足りないものがあればその時点で検討する。



土の入れ替えやフェンスを高くした総合グラウンド

林道白石横倉線開設工事

126万1050円増額し、6000万8550円とする。

現地再測量による路側擁壁の高さの変更と山側に張コンクリートの追加施工を行ったことによる増額。



開通が待ち遠しい白石横倉線

●専決処分

議会で決定すべき事件について、急を要して議を開くことができない場合などに、補充的手段として町長の権限で決定すること。

暴力団はいらない

県内一斉に暴力団排除条例を制定

県の暴力団排除条例が本年4月に施行されることから、県を挙げて暴力団排除に向けた強化を図る。

暴力団を恐れない。暴力団に資金を提供しない。暴力団を利用しないことを基本に、町や町民が連携して暴力団の排除に取り組む。

町や町民および事業者の責務や町の施設における暴力団の利用制限、青少年に対する指導や助言に努めることなどを定める。（4月1日施行）（賛成・全員）

武智龍議員

事業等の契約者の義務付けの範囲や周知の方法、誓約書などはどうなっているか。

西川晃議員

指定暴力団の認識と町民はどのようにして知るのか。

大原総務課長

3月定例会で県内すべての市町村が条例化する。

大原総務課長

県内には暴力団員等約300人で24組織とのことだ。

住所などの具体的な内容は警察活動上支障があるのとこのことで回答を得ていない。

町民がはつきり知ることには難しいと思う。

平成22年度補正

幼稚園の耐震改修工事など

平成22年度一般会計総額44億2577万円

平成22年度一般会計補正予算は、4537万円を追加し、総額を44億2577万円とする。

主な歳出は、幼稚園の耐震補強・改修工事で4カ所の補強と床や壁、ひさし等の改修工事を行う。また、基金（町の貯金）への積立金などを計上している。
主な歳入は、国庫支出金と町債（借入金）の増額など。



耐震化で安全な園生活を約束（幼稚園）

22年度3月補正予算

会計名		補正額	総額
一	般 会 計	4537万円	44億2577万円
特別会計	下 水 道	△97万円	1億5565万円
	国 民 健 康 保 険	1817万円	8億9773万円
	老 人 保 健	52万円	337万円
	介 護 保 険	2546万円	10億4796万円

議 会 報 告 会

区長を対象に5月27日試行

基幹集落センターにて

議会改革特別委員会の中間報告

昨年9月に設置した議会改革調査特別委員会（委員長 武智龍）は、2月まで5回開催し、議会運営や議会活動についての協議を行い、これまでに決定された内容の一部を報告した。

また、議会基本条例の制定など、議会改革に関する調査・研究を引き続き行うことを確認した。

議会報告会の試行

区長を対象に「議会、だより」発行後の5月中に試行する。

全議員が参加して3月定例会の議決内容と議会改革の取り組みをテーマに説明と意見交換を行う。

議会報告会は4月13日の全員協議会で5月27日に決定。

質疑の回数は無制限

議員が執行部に議案等の質問をする場合、一つの議題に関する質問は3回までと決められていたが、その制限を無制限とする。

一般質問は一問一答

一般質問は一問一答とする。従来どおり対面方式で1人2時間までとする。

今までは一度に複数の課題について質問と答弁が行われており、3回までの制限もあるため、質問・答弁が不明瞭で納得できないこともあった。

一問一答は、質疑の回数制限もなく、一つの課題について納得いくまで審議を尽くすことができる。

重要案件は事前協議

新規事業や大規模な事業、その他必要と思われるものは、議会招集日までに全員協議会で説明を行う。

肺炎球菌

ワクチン接種に助成を

周辺状況を見て検討する／町長



市原静子 議員

吉岡町長

周辺町村の状況を見て、福祉医療全体の中で、どのくらいの支援ができるか検討する。

このワクチンは危険な部分もあると聞くので、よく検討して対処したい。

●肺炎球菌

身の回りにいる細菌やウイルスなどの微生物の一つで、健康な人の鼻やのどによく見つかる。

最近では、抗生物質が効きにくい耐性菌が出現し、高齢者や慢性の心臓疾患、呼吸器疾患、腎不全、肝機能障害、脾機能不全、糖尿病の人などは、肺炎などの感染症にかかりやすく、病状も重くなる。

高齢者対策

（毎年恒例の野老山敬老会
本文とは関係ありません）

安く入れる住宅を

若者も住める複合的住宅を検討／町長



期日前投票の宣誓書を自宅で

問 高齢者や体の不自由な人の中で、期日前投票の際、受付で宣誓書へ記入するのに緊張して書けない人がいる。

法令では記載場所の指定はないので、自宅で書くこともできると思う。

投票率アップと受付での混雑解消のため、宣誓書を前もって自宅に配ることはできないか。

希望者に配る

大原総務課長

今後は、申し入れのあった人には事前に自宅に届ける方法をとりたい。

また、選挙広報のチラシに書き添えて知らせる。

問

埼玉県和光市では高齢者の健康状態の分析や民生委員の繰り返し訪問で孤独死を防ぐ取り組みと高齢者専用賃貸住宅の整備が進んでいる。

今後、山間地での一人暮らしの高齢者が増加するが、民間施設は賃貸料が高いため気軽に入居できない。

安心して暮らせる、安い賃貸住宅を整備する計画はないか。

吉岡町長

町営の住宅について、平成25年度に建設する予定で進んでいる。

その中で、高齢者だけではなく若者も住めるような複合的な施設を考えて、高齢者が安心して住める計画にしたい。

問 高齢者に大変多い肺炎による死亡率は、ここ数年上昇傾向であり、年齢別でも65歳以上が95%を占めている。

一番の原因は肺炎球菌によるものだが、ワクチン接種により、軽い症状で済むと言われている。

接種費用は保険が適用されないため、高齢者には大変な負担だが、公費助成ができるか。



健康で元気に暮らせる取り組みが大事

問 税の徴収は、負担の公平の面と、町においては自主財源の基本的なものとし



齋藤政広 議員

町税の徴収

租税債権管理機構の成果

職員の専門知識の習得も大きい

／税務課長

て重要なものだ。
租税債権管理機構は、発
足当時からどのような成果
を上げているか。
また、町税の収納率はど
うなっているか。

片岡税務課長

租税債権

管理機構は平成16年度に設
立され、悪質滞納者の財産
差し押さえなどにより徴収
率の向上に寄与している。

また、インターネット公
売なども行つて成果を上げ
ている。

本町からは職員を派遣し
ており、捜査の執行や徴収
の駆け引き、顧問弁護士へ
の相談など、徴収の専門的
な知識を得たことで、平成
16年度以降494件の差し
押さえを行い、1052万
円の滞納整理を行うなど、
人材育成の面でも大きな成
果になっている。

町税の収納率は、住民税
は20年度97・8％、21年度
98・2％、固定資産税は20
年度98・86％、21年度98・
7％となっている。

租税債権管理機構の徴収状況		
年度	本町の委託額	徴収額
16年度	2698万1000円	994万4000円
17年度	2270万2000円	908万8000円
18、19年度は省略しています		
20年度	1803万1000円	642万9000円
21年度	1701万5000円	470万7000円

国保税

引き上げはあるのか

医療費上がれば検討も必要／住民課長

問

他の自治体では、国
民健康保険税の引き上げの
ニュースがある。

本町も基金を繰り入れて
の予算編成なので、実質赤
字と思うが、大丈夫か。

また、県内一保険者構想
はどうなっているか。県と
市町村との合意はあるのか。

岡林住民課長

平成23年
度に県内で8市町村が引き
上げを予定している。

老朽化が進んでいる旧水道塔



旧水道塔が危険

問 旧の水道塔は、今は何
に使っているのか。

上部は窓ガラスも割れ
て、壊れかけの危険な状態
だが、将来どうするのか。

解体を含め検討

山本環境水道課長

昭和

61年3月に新しい施設に移
つてから、閉鎖してそのま
まの状態だ。

危険のないようにしたい
ので、取り壊しを含め検討
する。

相当壊れている

吉岡町長

歴史に残る建
物だが、相当壊れているの
で、残すのか、壊すのか、
慎重に検討して結論を出し
たい。

被保険者の高齢化と長期
入院患者の増加等、一人当
たりの医療費の増加で、基
金の繰り入れを予算化して
おり、大丈夫とは考えてい
ない。

現在、1億4000万円
の基金はあるが、決算の状
況を見ながら、医療費が上
がれば将来は引き上げの検
討も必要である。
平成25年度からの県主体

吉岡町長

県との正式な
合意はないが、各自自治体へ
のアンケート結果では広域
化に賛成となっている。

高知ファイティングドッグス(FD)

佐川町との連携ができてない

弱かったことを反省している／企画課長



岡林学 議員



高知FDと愛媛マンドリンパイレーツ(MP)とのオープン戦
(3月26日：町民総合運動場)

問 3月の高知FDのオープン戦の広報用チラシは、同じホームタウンの佐川町には配られなかった。地域交流、活性化、経済効果を考えると、佐川町と連携した取り組みをなぜしなかったのか。また当日の運営体制は。

5月21日には公式戦が予定されている。公式戦はやらないと言っていたが、やるには新たな整備が必要になるのではないか。

小田企画課長

佐川町へ

は話したが、チラシは本町だけ配った。連携が弱かったことは反省している。

オープン戦の駐車場整理は職員で行うが、試合の運

営は球団が行う。

観戦者も未知数だが、観光協会や商工会の協力で飲食物の販売と『おち駅』のPRをして立ち寄ってもらいたいと考えている。

吉岡町長

球場整備はこ

れで終わりが、公式戦の観客が多くなれば設備の足りない所もあり得る。整備の追加は絶対ないとは言えない。

自主防災

県内最低の組織率

リーダーの
なり手不足／総務課長

問

自主防災の組織率は、1月の町村会広報では、全国は74・4%、高知県が64・6%で、本町は34・9%と県内で最下位だが、組織率が低い問題点は何か。今後の計画と県の補助金はいつまであるのか。

大原総務課長

現在、22

の組織ができて41・8%になっている。平成22年度は14地区が取り組み、3地区が結成している。



8区自主防災組織の訓練状況

結成が進まないのは、リーダーになる人が少ないことや防災意識が低いことなどが考えられる。担当者や地区の関わりが重要で、今後も地区総会などをお願いしていく。県は、平成26年までに100%の組織化を目標にしており、それまでは補助金はあると思っている。

野老山中村線の遅れは

問 町道野老山中村線の着工が遅れている理由は、6月末には発注

小田産業建設課長

用地

補償について税務署との事前協議が必要のため、平成23年度に繰り越す。順調に進めば6月末には工事を発注できる。総延長は約534㌔で、幅員は4㌔の計画である。

その他の質問

問

熊秋手前のバラガタキの迂回路計画の内容は。

答

今の道路が崩壊しても影響しない山側に計画する。平成23年度は約400㌔の測量設計と100㌔の工事を予定している。

問

町道熊秋加枝ヶ谷線の計画は。

答

平成23年度は予算化していない。



藤原俊夫 議員

あったかふれあいセンター

東町集会所へ作れないか

中学校体育館建設などがあり難しい／町長



楽しいひと時を過ごす「あったかふれあいセンター」
(保健福祉センター)

問 あったかふれあいセンター事業は平成23年度で終わる。
知事は、24年度以降も、小規模な地域に必要なサービスを提供できる支援制度を創設したいとのことだ。
東町集会所は2階で高齢者は利用しにくい。1階の『どんぐり作業所』は品物が山積みで手狭になっている。
ここを新しくしてセンターの設置ができないか。

岡林住民課長 あったかふれあいセンターの利用者は延べ319人で、高齢者や障害者、子どもたちが楽しく集い、絵手紙教室や体操、カレンダー作りなどを行い好評である。
平成24年度以降の存続は不明である。
吉岡町長 今は中学校のプールと体育館の耐震改修や住宅建設などの計画があり、改修は難しい。

問 長引く景気低迷で住宅着工数が大幅に減り、住宅メーカーの進出で、地元業者の受注もほとんどない。
全国では住宅リフォームの助成をしている自治体もあるようだ。
助成すれば大きな工事高となり、町経済の活性化と

住宅リフォーム

助成制度で活性化を 実施自治体を

調べて検討する／町長

雇用につながるが、助成制度を創設できないか。
吉岡町長 建設労働組合越知支部から助成制度創設の陳情が出されている。
他の市町村の実施状況を調べて検討したい。

**西佐川駅駐輪場に
広域基金で屋根を**
問 JR西佐川駅は、越知町、佐川町、仁淀川町の人が利用しているが、平日には80～90台の自転車やオートバイを止めている。
屋根がなく風雨にさらされており、広域ふるさと市町村圏基金を使って、屋根ができないか。



西佐川駅の駐輪場

基金は使えない

吉岡町長 利用者には気の毒と思うが、基金を使うことはできない。佐川町長と話してみたい。

その他の質問

問 木造住宅耐震診断と改修の補助金の実施状況は。
答 耐震設計と改修は、昭和56年3月末以前の2階建て以下の木造住宅で、耐震診断で倒壊の恐れがあると判定された建物に限り、本年度から上限60万円を補助する。

耐震診断は平成19年から補助しており、診断ができる業者は、高知県木造住宅耐震強化促進業者に登録された者となっている。



片岡清則 議員

国道33号

度重なる通行止め

国が責任をもって処理する／町長

問 国道33号は、昨年8月に野老山手前で巨岩が崩落し、今年2月には名野川で山側が崩壊した。



▲ 片側通行規制の国道33号
上 仁淀川町名野川地区
右 規制解除が近い野老山地区



度重なる国道の通行止め策は、具体的な報告はないが、安全対策が求められるが、国が責任をもって処理するようになるのか。

越知道路は1.5キロ区間が完成したが、今後はどうなる。

吉岡町長 高知・愛媛と協力して整備を要望し、数カ所で整備が進められている。先日の崩壊個所の安全対策は、具体的な報告はないが、国が責任をもって処理すると思っている。

本町も迂回路対策として、町道の待避所整備なども行っている。

越知道路は、細かい内容のすり合わせをしている段階であり、非常に進んでいると理解してもらいたい。

老人ホーム

待機者解消の対応は

施設の増設は難しい／住民課長

問 老人ホームの待機者数と今後の対応は。

施設を増やすことは、保険料の引き上げも考えられるので難しい。在宅で高齢者が住みやすい地域政策を行う必要がある。

岡林住民課長

老人ホームへの入所は申し込み順ではなく、介護度の判定によって決まる。

待機者は重複申し込みもあるが、春日荘が178人、五葉荘が110人、あがわ荘が62人、もみじ荘が47人となっている。

(株)ソニアのその後

問 仁淀川町は、越知町と佐川町が放棄するならば、赤字ごと引き取るとのことだったが、その後どうなっているのか。

仁淀川町は、越知町と佐川町が放棄するならば、赤字ごと引き取るとのことだったが、その後どうなっているのか。

時間切れなら解散

吉岡町長 仁淀川町は引き取ると言明している。現在、県を仲介に県森連(高知県森林組合連合会)と話し合いをしている。時間切れなら解散するしかない。

その他の質問

問 南ノ川から小日浦、佐之國への新設道ができないか。

答 予算的なことや工法も含め検討している。

問 野老山市ケ谷の町道(旧国道)の待避所が飲食店の駐車場に使われている。対応を求める。

答 平成21年に「駐車場として使用させない」ことの覚書を交わしている。

問 戸籍上の生存者と実際の違いはどうなったか。

答 120歳を超える25人は死亡との判断で法務局を通して除籍した。

問 TPPの認識と今後。

答 明確な対策もなく進められたら、日本農業は太刀打ちできない。



待機者が62人のあがわ荘

教育問題

指導要領の変更による課題

総合学習の時間減少／教育長



武智龍 議員

150時間減るので、小・中学校とも項目は同じだが、今までのように時間がかけられなくなる。

問 平成23年度から学習指導要領が変わり、地域学習などがやりにくくなるのではないかと思うが、学校教育はどのようなのか。

山中教育長

小学校の年間の授業時数が1年生で68時間、2年生が70時間、3・6年生が35時間増える。5、6年生は新しく外国語が加わる。

総合学習は、自然や産業を愛する心が育ち、将来は町の活性化のためのリーダーとして期待できるが、



英会話に触れる時間が加わった小学校

一般質問

山間地対策

支障木の伐採に補助を 上限20万円で 90%を補助／住民課長

問 昨年の9月議会で、山間部の家や道路等の支障木を伐採する制度を検討するということだったが、どのようにになったか。また、実施の予定は。

岡林住民課長

高齢者や

体が不自由な人の住宅に迫った立木などの伐採を行う地区へ、費用の90%で20万円を上限として補助する。4月から区長を通して募集し、希望があれば6月に予算化する。町道等の支障木除去は作業班で対応する。

23年度重点施策

問 平成23年度に重点を置いて取り組む施策は。

防災無線のデジタル化など

吉岡町長

南海地震・東

南海地震に備えて、防災無線のデジタル化に3億8400万円を計上したのをはじめ、幼稚園の耐震工事、越知中学校プールと体育館改築設計、国土調査のスปีドアップ、子ども手当、土木事業では林道開設や道路橋梁新設事業を継続する。また、緑のふるさと協力隊員1人を受け入れる。

その他の質問

問 平成22年度の重点施策の成果と進捗状況は。

答 耐震工事とおち駅、総合グラウンド整備。雇用が途切れないよう工事も発注できた。全体的には80%満足だ。

問 公民館と公民館職員役割や能力向上、地域のリーダー育成等の考えは。

答 地域コミュニティの中心的役割を担っており、過疎化などで集落の維持が困難な時代であり、地域を超えた人とのつながりや行政と協働した活動が求められている。

県の研修会等に参加して職員の能力向上に努める。

問 担い手農家への農地集積と今後の農業改革への取り組みは。

答 農地の一筆地調査を行って集積化できる。集落単位での営農集団の育成が必要だ。

問 集落の再整備を区長会等と協議する考えは。

答 こちらからする考えはない。

森の巣箱（津野町）に学ぶ

交流で地域が元気

横畠小学校の活用が計画されており、同様の取り組みの先進地である仁淀川町と津野町を2月1日に訪問し、運営状況などをうかがいました。



木造校舎と住民のもてなしが訪れる人に癒やしを与えている「森の巣箱」(津野町床鍋地区)

森の巣箱

楽しく暮らそう

津野町の床鍋小学校は、昭和58年に廃校になり、その後「地域が楽しく暮らせるものに」との考えで、平成15年に約9000万円を掛けて、宿泊室やコンビニ、居酒屋を備えた『農村交流施設・森の巣箱』として生まれ変わった。



代表の大崎登さん

毎年約千人が宿泊

インターネットや旅行雑誌を見て来る人や学校関係の合宿も多く、毎年約1000人が宿泊している。ホタル祭りや結婚式なども開催して、地域外の人の交流が盛んで、視察者も西日本のほとんどの県から訪れている。

行政支援なしで運営

運営資金は、行政の支援は受けずに地区自治会から400万円の出資を得て、年間約1000万円の売り上げだが、約30万円が赤字になっており、県道の側溝清掃や草刈り業務を約100万円で県土木から受託して補っている。

高齢者の見守り

代表の大崎さんは「人が訪れて地域が賑わい元氣になったが、高齢化が進み、活動が難しくなる不安もあり、高齢者を見守る体制づくりが必要」と述べられた。

リーダーが欠かせない

取り組みは、住民の結束が大事だが、熱意あるリーダーの存在が不可欠だ。『森の巣箱』は、住民に信頼される地域づくりを実現している。



日用品が揃うコンビニ



教室は木の香り漂う寝室に变身

廃校校舎
の活用術

しもの郷さと（仁淀川町）と

しもの郷さと

赤字は一度もない

仁淀川町の下名野川小学校は、平成12年に廃校。

平成17年に約9000万円で改築し、宿泊室や浴室、会議室、食堂、居酒屋などを備え『山村自然薬校 しもの郷』としてスタートした。

運営資金は、卒業生からの寄付金と町からの指定管理委託費（年間36万円）を充てており、現在まで一度も赤字になっていない。

65%が県外の人

マスコミ報道やインターネットで知名度が上がり、宿泊者は年間約800人で、そのうち65%が県外の人である。

また、県内の障害者施設の合宿や地域の忘年会や敬老会、老人クラブ総会などに利用されている。

登山道や公園を整備

登山道や河川沿いの遊歩道や公園を整備し、花木を植えるなどして、固定客を増やす努力を行っている。運営委員会は、希望者50人で組織しているが、地域住民全員が参加することを基本としており、宿泊や食事の対応には常時25人くらいを確保している。



交流で住民に生きがい

交流イベントは『水の滝鑑賞ツアー』をはじめ年間5回開催し、地域住民がでることに参加して外部の人と交流することで、家に閉じこもらず、生きがいが生まれている。

利益は住民に還元

「続けるには、ボランティアの気持ちが強くないとできない」と代表の中西さんは述べられ、剰余金が出たときは、研修旅行や賃金の追加支給をするなど、住民の福利厚生にも努めている。

囲炉裏では小宴会も可能



浴室も十分な広さ



代表の中西二さん



寝室は障子と畳敷き



4年連続トップ10

全国町村議会広報コンクール

全国入賞議会

最優秀賞 宮城県七ヶ浜町議会
特別優秀賞 宮城県利府町議会
優秀賞 岩手県金ヶ崎町議会
// 岩手県岩泉町議会
優良賞 岩手県紫波町議会
// 山梨県川西町議会
// 群馬県古岡町議会
// 山梨県昭和町議会
// 石川県志賀町議会
// **高知県越知町議会**

奨励賞 岩手県雫石町議会
// 宮城県富谷町議会
// 宮城県美里町議会
// 福島県南会津町議会
// 石川県津幡町議会
// 石川県内灘町議会
// 岐阜県安八町議会
// 愛知県幸田町議会
// 広島県坂町議会
表紙フォトグランプリ賞
静岡県清水町議会

議会だより第92号（平成22年5月1日発行）が、第25回町村議会広報全国コンクールで、応募総数204町村の中から「優良賞」を獲得し、4年連続トップ10入りを果たしました。

平成22年度の入賞議会は、東日本大震災で被害に遭われた地域の議会が多く、震災前に上位4町議会から「議会だより」をいただき、手本にさせていただきます。

被災地域の日も早い復興をお祈りし、今後とも町村議会広報紙のトップリーダーとして頑張ってくださいことを願っています。

本年度から常任委員会としてスタート
より一層編集能力の向上に努めます



2月24日に鳥取県智頭町議会6人が広報編集の視察に見えられ、中土佐町議会から3人が同席された



議会だより

編集のコツを学ぶ

町村議会広報研修会 2月17—18日

編集作業での紙面構成やタイトルの工夫、余白の使い方などの手法を、事例を上げて解説いただいた。

また、広報紙は、読み手を意識して作ることが大事で、地域との関わりを伝える記事なども載せて、読者に紙面をめぐってもらおう努力が必要とのことであった。

写真の撮り方は、自然な表情の人物撮影のコツや少し専門的な撮影技術も交え、多くの撮影例を示して分かりやすく解説いただいた。

広報紙クリニックでは、本町議会だよりNo.94について、議会広報コンクール審査委員長などを務められている城市創（じょういち）氏の講評をいただいた。

見出しの分かりやすさや問答者の名前掲載などは良い評価をもらい、書体の使い方や行政用語の解説、問答記事、写真の載せ方など、いくつかの指摘を受け、今後の編集活動に生かされる大変有意義な研修であった。

全国から約250人が参加
東京シエーンパツハ・サボー



あれはどうなっちゅうが？

地デジ化の難視聴対策は

(平成19年9月議会)

西川晃議員 平成23年7月にテレビのアナログ放送が終了するが、難視聴地域の対策はどうなっているか。

およそ500世帯が見えにくくなる

総務課長 およそ500世帯が見えにくくなる。国・県の助成制度を活用して解消に取り組む。

処理状況

24地区567戸を改修

これまで24地区567世帯でNHKや地域の一部負担などによる難視対策を行っている。

戸別の難視世帯には、費用が3万5000円を超すと補助金が出るので、町が事業者を紹介している。

7月24日の期限までに地デジ移行ができない世帯は、暫定的に衛星アンテナで東京の地デジ番組が見られる措置が講じられる。



画像がきれいなデジタル放送

広域議会

救急車

19人に1人が使用

救急出動は、前年より96件多い1475件で、過去2番目に多い件数となり、高吾北管内で19人に1人が使ったことになる。

脳疾患、心疾患などで高知市内等への管外搬送が59%を占めている。

火災出動は13件で、死者2人、負傷者1人で、損害額は2481万円。

老人ホーム

病弱化が進む

養護老人ホームの利用者50人のうち27人が要介護認定を受けている。高齢化、病弱化で入院日数は増えている。

特別養護老人ホームの待機者は、複数の施設へ重複申し込みもあるが、全体で373人となっている。

定例会(3月3日)

衛生センター

老朽化で更新を検討

衛生センターは、昭和41年から稼働しているが、各設備の老朽化が進んでおり、施設の更新等を判断するための検討資料を作成する。

処理センター

第2槽が満杯

清掃センターは、総量の15・4%が再資源化されている。平成16年度をピークに減少していたが、平成21年度は微増した。

処理センターは、第2槽がほぼ満杯で、23年度からは第3槽に投入する。

23年度予算

会計名	予算額	前年度比
一般会計	9億414万円	100.69%
特別会計	特別養護老人ホーム	13億5830万円 106.75%
	養護老人ホーム	1億1552万円 96.66%
	知的障害者更生施設	1億9219万円 117.36%
	ふるさと市町村圏	1748万円 148.76%
合計	25億8763万円	104.96%

議会です
さんにちは

「議会だより」は
ちゃんと読んで
残しちゅうぜよ。

盆栽づくり70年

「娘がお父さんに似て盆栽
好きなのよ」と妻の登志美
(としみ)さん(89)

日ノ浦の武智眞男(たけちさねお)さん(86)
に70年近く続けている盆栽づくりの楽しみをう
かがいました。
「お気に入り全部よ。それぞれ愛情持って
育てようけ」と述べられ「せん定をせんじやつ
たら植えんがましぜよ」「若木は毎年植え換え
んといかん」と熱心が伝わってきます。
木を理解して手を加え、木の成長とともに期
待と喜びが大きくなっています。「毎晩寝る前
に明日の予定を考えよう」と、これが元気で暮
らせる秘訣のようです。

接ぎ木は気が抜けない。
「花が咲き、実がなるの
が楽しみじゃ」

「木の形ができたら鉢もそれな
りのものが必要せよ。人も紋付
に地下足袋だとカッコ悪い
う」と明解です。

「花梨は枯れそうじゃったけ
んどやっと芽だつてくれた」
と喜んでいました。

次の定例会は6月です。 3月定例会の傍聴者は3人でした。多くの方の傍聴をお願いします。

編集後記

3月11日以来、東日本
大震災と原発事故が一日
も頭から離れたことはな
い。
本町では、学校や公共
施設の耐震工事が進んで
いるが、「南海地震」が
予想より早く起きたり、
想定外の規模だったらと
思うとゾッとする。
津波の心配はないが、
住民の命と財産を守るた
めに防災計画の見直しや
対策を急ぐ必要がある。
議会は、22年9月から
議会改革に取り組んで
いるが、災害時の緊急対応
や突発的な行政課題にい
つでも議会が開けるよう
「通年議会制」にするべ
きではないだろうか。
《武智》

編集・発行責任者

議長 岡林幸政

議会広報常任委員会

委員長 岡林学

副委員長 斎藤政広

委員 武智龍

委員 高橋丈一

委員 市原静子

※分かりやすい紙面にと心が
けています。読後のご感想、
ご意見をお寄せください。